

優しい自然素材の味わいとともに
あたたかな家族の歴史が重なる家

「ハウスランド社」がつくった
大宰府市在住 / Nさんの住まい

ふんだんに使われた無垢の木や
西洋漆喰の壁に包まれて
まるで家全体が呼吸しているかのよう。
家族の理想をひとつひとつ叶えた家が
いまここに、完成しました。



床には、浮遊りを施した小国杉を贅沢に使用。また、柱や天井に色合いの異なる木材を取り入れることで、表情豊かな空間を作り上げた。



上/落ち着いた風情の外観。下右/リビングへ続く扉にはめ込まれているのは、フランス製のガラス。下左/シューズクローゼットからは直接パントリーにアクセスすることができる

訪れた人を温かく迎える
洗練された優しい空間

新築でありながら、訪れた人をリラックスさせてくれるような優しい空間。それが、Nさんのお宅に伺った際の第一印象だ。

手がけたのは、「ハウスランド社」。筑紫野市に古民家を再生したモデル住宅「和の家」と、古民家スタジオ「風のくら」、ふたつのモデル住宅を展開しているビルダーで、日本の伝統建築である古民家ベースに、現代の要素を取り入れた家づくりを得意とする。今回、Nさん

が自宅の新築にこちらを指名したのは、先に同社でリノベーションを行った奥さまのお姉さまからの推薦。その後、見学に出かけた展示場で同社のこだわりに触れ、依頼を決めたのだ。

打ち合わせの際は、「ハウスランド社」の施工事例をカタログ的に活用しながら、ピックアップした箇所をご主人が美しくファイリングして持参。さらに、「キッチン横のユーティリティは広めに」「シューズクローゼットをはじめ、収納を充実させたい」「洗面・脱衣所を別に設けたい」となど、Nさんファミリーのライフスタイルに合ったリクエストを重ねながら、一歩ずつ家づくりを勧めていった。

